

令和8年通常選挙 支部区域毎の社員

選挙公報【詳細版】

●支部区域毎の社員の立候補者（所属支部名 東京都 ）

- ①コールサイン : JG1DKJ
②氏名（フリガナ） : 澤田 倉吉（サワダ クラキチ）
③年齢 : 70歳
④職業 : 自営業
⑤無線従事者資格 : 第二級アマチュア無線技士

力を入れている無線活動

新しいモードや技術の研究活動、既設レピータシステムの維持継承の活動
V/UHF帯における不法局への対策研究活動、29MHzFMバンドの運用と研究
地域の無線イベントや伝統ある無線大会継承への活動

支部長としてJARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

JARL本部のある東京都支部として本部に協力できる体制づくり
JA1RL中央局の運用やハムフェアのサポート要員の動員等
他府県支部との情報共有や共催行事などを行いJARLを盛り上げる。

地域の協力を得ながら災害時での通信ボランティアとして社会貢献
活動ができる。

奥多摩から東京都23区、島嶼地域の大島、八丈島、神津島、小笠原父島・母島
などを含めた交流ができる。

東京都支部長を5期10年となる経験から行事運営等へアドバイスや協力ができる。

2023年ハムフェアより実行委員長として毎年改善を検討して、さらに良き
ハムフェアになるよう貢献したい。

社員としてJARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

社員を2014年から1期、東京都支部長を2016年から5期2026年まで続けて
きているので、経験などをもとに業務見直し等積極的に協力ができる。

新規開局や再開局希望者への開局サポート、再免許へのサポート等をして、
JARL会員のメリットやJARL活動をアピールできる。

令和8年通常選挙 支部区域毎の社員

●支部区域毎の社員の立候補者（所属支部名 岐阜県支部）

- ①コールサイン : **J G 2 R M R**
②氏名（フリガナ） : 木全 義憲（キマタ ヨシノリ）
③年齢 : 58
④職業 : 会社員
⑤無線従事者資格 : 第一級アマチュア無線技士

力を入れている無線活動

- ・防災訓練への積極的な参加（岐阜県総合防災訓練、美濃市）
- ・記念局の運用
- ・体験局の運用
- ・電波適正利用推進員として子ども向けラジオ工作教室

支部長としてJARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

- 【1】非常通信の防災活動への実効性向上**
・岐阜県の地理的特性を踏まえ、実践的で参加しやすい防災通信訓練を継続します。
・行政や地域との連携を意識し、画像・位置情報・文字情報を活用した「より実践的な非常通信」の実施に努めます。
- 【2】属人化を避けた持続可能な支部運営**
・特定の役員や個人に負担が集中しないよう、役割や情報の共有、業務の見える化、DX化を進めます。
・IT技術の活用で、心理的・時間的負担の少ない運営体制を整えます。
・これらにより、支部活動に関わりやすい環境を作ります。
- 【3】若年層・初心者が参加しやすい支部づくり**
・体験運用、公開運用や技術講習会、工作教室、防災活動などを通じ、アマチュア無線の魅力を「実感できる形」で伝え、ICT人財となりうる次世代の育成につなげていきます。
- 【4】JARLと地域会員をつなぐ橋渡しとしての役割**
・本部・地方本部の方針や情報を分かりやすく定期的に伝えます。
・個人、クラブ局からの声を丁寧にくみ上げ、JARL全体の発展に寄与するよう、意見を積極的にボトムアップしていきます。

社員としてJARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

- ◆岐阜県支部監査指導委員として
 - ・アマチュアバンド内の電波のモニター
 - ・総合通信局との連携によるJARLガイダンス局の運用
 - ・アマチュア無線に関する技術・運用マナーを含む育成指導（養成課程講習会講師）
- ◆岐阜県支部非常通信委員として
 - ・防災訓練への参加と自治体（岐阜県、美濃市）との連携（年2回）
 - ・非常通信訓練の実施（年2回）
 - ・日本赤十字社岐阜県支部アマチュア無線奉仕団との連携
- ◆所属クラブ（各務原アマチュア無線クラブ）の一員として
 - ・地方本部会議、支部運営会議、社員総会での内容・決定事項・トピックスの周知活動
 - ・JARL会員、非会員を問わず広くアマチュア無線家の意見を集め、支部等に提案を行う

令和8年通常選挙 支部区域毎の社員

●支部区域毎の社員の立候補者（所属支部名 愛知県支部 ）

①コールサイン : **7L1FFN** es JS2LGP

7L1FFN 磯 直行の活動（詳細）

②氏名（フリガナ） : **磯 直行**（イソ ナオユキ）



③年齢 : 59歳

④職業 : 大学教員

⑤無線従事者資格 : 第1級アマチュア無線技士

<https://www.iso.jp.net/JARLelection2026/>

力を入れている無線活動（詳細・写真は右上のQRコードからアクセスしてご覧ください）

- ・コンテストへ参加し、短時間ながら集中してアマチュア無線の交信を楽しむこと
- ・デジタル機器や無線機等を自作すること
- ・CQ hamradio誌等への執筆を通してD-STAR等の新しい無線技術を初心者向けに紹介すること
- ・支部活動を通して、若者からご年配の方まで年齢を問わないコミュニケーションを図ること

支部長としてJARLに対して自分ができる貢献(具体的に)（詳細・写真は右上のQRコードからご覧ください）

- ・支部長経験を活かして講習会や工作教室等の支部活動、東海ハムの祭典の無線イベントの企画・運営を行うこと
- ・支部公式Webサイト（www.jarl.com/aichi/）を通して、近年の法令改正等の最新情報を支部会員へ正しく迅速に伝えること
- ・防災や科学技術啓蒙等における愛知県や名古屋市、東海総合通信局等の公共団体と連携すること
- ・監査指導委員会や東海総合通信局と連携してクリーンな電波環境を維持すること
- ・特別局・特別記念局等の開設にあたり書類作成等の適切なアドバイスを行うこと
- ・会員および一般のアマチュア無線家に呼びかけ、JARLへの新規入会と既存会員の継続を促すこと



社員としてJARLに対して自分ができる貢献(具体的に)（詳細・写真は右上のQRコードからご覧ください）

- ・社員総会等を通して支部会員からの意見をJARLの運営に反映させること
- ・東海地方の他の社員と協力し、JARLの運営等について情報交換と議論を行うこと
- ・ハムフェアの「JARL東海地方本部」ブース出展に協力し、愛知県支部の活動を広く周知すること
- ・JARLの各種委員会の所属経験をもとに、青少年育成や不法局対策に継続して取り組むこと
- ・D-STARに関するWebサイト（www.d-star.jp）や、メーリングリスト、ロールコール情報を提供するシステムの運用を行うこと
- ・「アジア競技大会・アジアパラ競技大会」や「愛知万博20周年記念応援事業」等のビッグイベントと連携し、広くアマチュア無線を広報すること
- ・外部資金獲得等により、JARL活動を活発化させること

令和8年通常選挙 支部区域毎の社員

●支部区域毎の社員の立候補者（所属支部名 **奈良県**）

- ①コールサイン : **JN3ANO**
②氏名（フリガナ） : **南 賢 一（ミナミ ケンイチ）**
③年齢 : **73**
④職業 : **無 職**
⑤無線従事者資格 : **第一級アマチュア無線技士**

力を入れている無線活動 1. 自身のアマチュア無線通信技術の鍛錬として、可能な限りコンテストの電信部門に参加してログを提出する。奈良 V・UHF コンテストを盛り上げている。
2. 非常通信訓練に自らキー局を務めたり、通信訓練に可能な限り参加する。
3. 支部や属するクラブで記念局を運用する機会があれば、積極的に運用する。
4. KANHAM での子どもたち向けの工作イベントに担当支部として参加したり、「青少年のための科学の祭典」奈良県大会に出展者として続いて参加している。

支部長としてJARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

1. 奈良県支部長として、アマチュア無線を趣味とする仲間が互いに無線通信の力量を高め、互いにアマチュア無線を楽しめる奈良県支部を目指す。
2. 奈良県支部主催の ARDF 練習会には近隣府県から多くの中高生が参加し、運営にはその卒業生が協力している。この中からアマチュア無線に興味・関心をもち、少しでも多くアマチュア無線資格を取得し、JARL 会員になってくれるよう期待し啓発する。
3. 日本は地震や台風など自然災害が多く、電源や通信インフラが失われることも起こる。奈良県支部として、2006 年から 90 回になる、自然災害時や子どもの安全を守るための非常時の通信を想定した通信訓練を、会員とともに続ける。
4. JARL の公益的な取組のひとつとして、青少年の健全育成を推進する活動を続ける。「青少年のための科学の祭典」奈良大会には 21 回出展している。今後も会員とともに出展を続け、アマチュア無線の楽しさと社会貢献を伝えたい。

社員としてJARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

1. JARL およびアマチュア無線の発展に寄与するような会員の積極的な意見を聞き、他の社員と協力して提言する。
2. 自然災害時や非常時のアマチュア無線の有用性や活用を他の社員と協力して提言する。
3. 科学技術に興味・関心をもち、社会とつながりをもつ楽しさに気付くなど青少年の健全育成に役立つアマチュア無線の重要性を、いかに社会にアピールするか、他の社員と協力して提言する。
4. 社員の皆さまと知恵を出し合い、JARL 経営の健全化・安定化を目指す。

令和8年通常選挙 支部区域毎の社員

●支部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 和歌山県支部)

- ①コールサイン : JR3KUF
- ②氏名(フリガナ) : 池上 和彦 (イケガミ カズヒコ)
- ③年齢 : 68
- ④職業 : 無職
- ⑤無線従事者資格 : 第1級アマチュア無線技士

力を入れている無線活動

- 毎朝の登山における移動運用、伝搬実験
- 24MHzオンエアミーティング
- 高校部活動における顧問活動

支部長としてJARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

- 支部行事において、技術的な啓蒙活動
長年における経験(53年)や技術的知見(第1級無線技術士)の紹介
- 支部行事において、会員相互の交流を深める活動
和歌山ハムベンションの開催や支部一斉移動活動等

社員としてJARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

- JARL会員増強への取り組み
魅力ある支部行事への誘い。催事開催入会への取り組みと退会防止
- 少ない経費で最大限の会員の満足を得る活動
安価な公共施設での開催や野外での活動
- 支部活動後継者の育成と伝承
- 地方自治体、警察、新聞および放送等に対するアマチュア無線の広報活動
非常通信訓練、支部行事の紹介等

令和8年通常選挙 支部区域毎の社員

●支部区域毎の社員の立候補者（所属支部名 兵庫県支部 ）

- ①コールサイン : JF1RPZ
②氏名（フリガナ） : 出田 洋（イツタ ヒロシ）
③年齢 : 68歳
④職業 : 無職
⑤無線従事者資格 : 第1級アマチュア無線技士

力を入れている無線活動

DX（5BDXCC・160mDXCC・6mDXCC）、ARDF（IARU Reg.3 ARDF Committee Chairman）、コンテストJARL支部行事・地方本部行事への貢献 転送会員のコールサイン（JA4PHT・JN3TMW）所属クラブ（関西コンテストマニアクラブ・職場のクラブ・武蔵野クラブ）の行事への貢献 JARDの養成課程講習会講師として、年数回第四級アマチュア無線技士の講習会で講師を担当

支部長としてJARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

支部開催のイベントとして、大阪府支部と共催で関西ハムシンポジウムを企画・運営を実施

支部が事務代行機関としてJARD主催の第四級アマチュア無線技士養成課程講習会を企画・実施することで、アマチュア無線の仲間を増やす活動を実施

支部として、登録クラブや会員による一般向けの電子工作教室などに工作キットの支給などによるサポートや、支部の社団局（JL3ZKY）を活用した一般向けの公開運用・体験運用をサポート

関西地方本部の行事の企画・運営に支部を代表して参画

地方本部を通じて連絡を受けた理事会報告をクラブ代表者会議や、支部会員連絡メールを通じて支部の会員に伝達するとともに、会員からのフィードバックを地方本部を通じて理事会や事務局に伝え、会員の意見要望が実現できるようにサポート

クラブ代表者会議は、県内各地（神戸・阪神・播磨・県北）に順番に出向いて開催するとともに、オンラインでも参加出来るように配慮する。登録クラブの組織されていない個人の会員向けにも情報が伝わるように「会員連絡メール」を設定し情報伝達・開示を推進

社員としてJARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

支部会員・登録クラブなどからのJARL運営に関する提案や意見を社員総会で反映させる

支部長として3期6年間の経験をもとにした、JARL全体の運営に関する意見・提案を社員総会で反映させる

社員総会での意見・提案の反映は、事前準備書面と総会当日の質疑で行う

令和8年通常選挙 支部区域毎の社員

●支部区域毎の社員の立候補者（所属支部名 岡山県支部 ）

- ①コールサイン : JM4VZH
②氏名（フリガナ） : 菅 紀浩（スガ ノリヒロ）
③年齢 : 43歳
④職業 : 会社員
⑤無線従事者資格 : 第二級アマチュア無線技士

力を入れている無線活動

現在、岡山県支部長として支部の運営に携わらせていただいております。支部の事業では、運営委員の皆様、会員の皆様にご協力賜り、新たな試みを取り入れながら運営をさせていただいております。

個人としては、離島からの運用や社同局などでのコンテスト参加、様々な工作を楽しんでいます。

支部長としてJARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

支部長として求められることは、支部内の事業の活性化は勿論、一つ一つの事業を魅力あるものにしなければならないと考えています。ただ、同じ名称や近い事業内容であっても一概にひとくくりにはできず、支部ごとや、地域ごとで多様なニーズがあります。その様な実情を様々な機会を通じ、連盟に届けることで今後の組織運営に貢献できればと思います。

また、アマチュア無線を知られていない方々には、電子工作や体験局などを通じて周知させていただいたり、アマチュア無線の様々な魅力を駆使して、小さなお子様や保護者の皆様にも参加いただける遊びを増やし、お一人でも多くの仲間を増やすことが責務だと考えています。

社員としてJARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

社員総会や、連絡会議などへ積極的に出席をし、地方の実情発信ならびに、組織運営に対する提言を社員の立場でしていきます。

なお、社員総会ではJARLの健全な運営のため、社員としての権限を行使します。

特に、支部区域毎の社員はそれぞれの地方の実情を知るものとして、会員皆様の利益につながる提言ができればと考えています。

何事も、資格や経験で参加の可否が決定されるような組織であってはならないと考えますので、JARL全体の未来につながるような提言を行えるよう努めます。

令和8年通常選挙 支部区域毎の社員

●支部区域毎の社員の立候補者（所属支部名 山口県 ）

- ①コールサイン : J R 4 C T F
- ②氏名（フリガナ） : 小川博敏（オガワ ヒロトシ）
- ③年齢 : 72歳
- ④職業 : 無職
- ⑤無線従事者資格 : 第一級アマチュア無線技士

力を入れている無線活動

- できるだけ時間を割いてコンテストに参加し、アマチュア無線を楽しんでいる。特に、RTTYのコンテストには積極的に参加している。
- アマチュア無線を通して、できるだけ多くの人と交流したいと考えている。
- 子どもたちにアマチュア無線や電波について知ってもらうために、電波教室の講師として活動している。

支部長としてJARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

アマチュア無線の魅力を広く伝え、地域のハムライフをより充実させるため、以下の3つを重点項目として活動したい。

1. 多様な通信技術の紹介と技術向上支援

アマチュア無線の世界は、デジタルモードなど、年々多様化しています。これら新しい通信方式への理解を広げるため、最新情報の提供に加え、初心者から上級者まで役立つ操作技術や運用技術の解説や、実践的なアドバイスやサポートをしたい。

2. 若い世代への普及と体験機会の創出

アマチュア無線の未来を担う若い世代に向け、イベントや体験運用の企画・実施を進め、認知度向上の取り組んでいきたい。

3. 交流の場づくりと地域連携の強化

仲間とのつながりを大切にし、「ハムの集い」やコンテストなど、交流や運用の場となる行事の充実を図り、地域全体でアマチュア無線を盛り上げていきたい。

また、記念局（JA4RL・JH4YRL等）の運用によるアクティビティ向上を図るとともに、登録クラブとの協力体制を強化し、イベントの共催にも取り組みたい。

アマチュア無線の魅力を次世代へ伝え、地域のハムライフ発展に努めていきたい。

社員としてJARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

○社員総会を通して、情報交換をするとともに、会員の意見を積極的に取り入れた活動を進めていきたいと考えている。

○さまざまな課題が山積する中、JARLの運営の健全化や安定化を図るとともに、発展に貢献したいと考えている。

○若い世代へのアマチュア無線の普及にも尽くしていきたい。

令和8年通常選挙 支部区域毎の社員

●支部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 徳島県)

- ①コールサイン : J15GNF
②氏名(フリガナ) : 伊丹 忠 (イタノ タツシ)
③年齢 : 73才
④職業 : 国体職員
⑤無線従事者資格 : 第2級アマチュア無線技士

力を入れている無線活動

JARL支部、クラブコンテストに積極的に参加し、県内外の会員及び非会員との交信により新卒を招き、向でも多くの交信を行う、JARL会員への推進を図る。

支部長としてJARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

JARL会員から脱落した局及び休止している局を再会していたため、新規JARL会員への推進を図る。
支部運営には、役員会、クラブ代表者会議、コンテスト委員会、研修会、ハムの日、等において会場、資料が必要で、経費削減に努めたいと思います。
年2回の支部コンテスト(Area)に多くの県内外局の参加を求むる。

社員としてJARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

同国体部長、JARL会長 森田 耕司 (JA5SUD) 様に協力いたします。
また、同国体支部の運営に対しても各役員と共に積極的に協力いたします。

令和8年通常選挙 支部区域毎の社員

●支部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 鹿児島県)

- ①コールサイン : JAB6NHN
②氏名(フリガナ) : 西 幸司
③年齢 : 73才
④職業 : 企画会社
⑤無線従事者資格 : 第3級アマチュア無線技士

力を入れている無線活動

鹿児島県も最近県内で自然災害(地震・桜島等の火山爆発等)や色々災害や公共交通機関でも事故等が発生する事が有る。その際にHAMの皆さんの普段の親睦を深めて、モット「公助・共助・自助」の連携を作る為に皆さんと交流(イベント)を準備します。体験無線通信を一般の皆さんに挑戦して頂き、加えて新たにJARL会員を増やします。

支部長としてJARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

毎月第一木曜日にJARL鹿児島県支部ロールコールを「鹿児島県日本赤十字アチュア無線奉仕団・鹿児島非常通信協議会・KANOYA-NET・ローカルnet鹿児島・JARLレピータ管理団体等」でDigital⇔Analog広域Networkを利用したシステムを構築して利用させて頂き、非常時の通信網の管理で、通信エリア確認とHAM皆さんの親睦を深める為に19時から20時(約1時間)で開催しています。キー局を支部役員が交代で運営しています。広域接続構成図を随時作成していますが、鹿児島県支部ホームページに記事がアップされています。鹿児島県支部管内JARLレピータ管理団体と情報交換を持って補修管理を会員有志皆さんで奉仕作業をお願いしています。特に奄美大島等の離島HAMの皆さんも参加出来る様に支部役員が勤務先の出張時に通信設備保守等をお願いしています。

社員としてJARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

支部主催事業で今までは鹿児島市内で開催していましたが、「ハムのつどい(霧島市)・支部新年会(始良市)・鹿児島県総合防災訓練(県庁が会場持ち回り市町村)・桜島火山爆発総合防災訓練(鹿児島市役所より会場指定)など開催された際に支部役員が出来る限り参加する様になっている。イベント参加時に「体験無線通信運用」で一般(小中高生など)にQSOに挑戦して貰っています。国家試験(講習会も含んで)一般市民やHAM皆さんに上級資格に挑戦して貰う様にお願いして、「楽しいハムライフ」を体験してアマチュア無線を知合いにPRをお願いして支部HPで紹介していく様にとお思います。

令和8年通常選挙 支部区域毎の社員

●支部区域毎の社員の立候補者（所属支部名 青森県支部 ）

- ①コールサイン : JQ7ATB
②氏名（フリガナ）：岡田 竜也(オカダ タツヤ)
③年齢 : 40歳
④職業 : 自営業
⑤無線従事者資格 : 第三級アマチュア無線技士

力を入れている無線活動

運用面では、D-STAR、APRS(パケット)をメインに運用しています。D-STARについてはレピーターリストやファームウェアのアップデートのサポートも行っております。

アンテナや各種インターフェースなど、実際の運用時に役に立つ物を自作したりしています。現在、基板設計・キット製作の為CADソフトウェアを勉強中です。

支部長としてJARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

私は2年前の選挙には立候補しておらず、会長からの委嘱で支部長を拝命致しました。そこで感じた事は地元の皆さんの協力が無ければ支部運営が成り立たない、という事です。私がこの選挙に当選をすることが出来たら、中央や地方本部の運営について支部所属の会員の皆様に情報提供すること、また会員の皆様より頂いたご意見等を集約し、社員総会や地方本部長(理事)を通して中央に上げるなど、会員の皆様主体の支部運営を行いたいと考えております。また、東北の他の5県支部や交流を続けている渡島檜山支部との繋がりをより密にし、県を越えた協力体制を構築したいと考えております。

また、支部としてJARL Webや支部ホームページ、SNSなどを活用して積極的に情報発信を行い、支部の運営(活動)をリアルタイムで皆様に知っていただけるよう、取り組んで参ります。また、皆様が支部やJARL全体に対して意見を言いやすい雰囲気づくりに努めて参ります。

社員としてJARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

これまでは社員ではない支部長という立場でしたが、この選挙に当選することができたら、社員であり支部長であるという重責を担うこととなります。しかしやることは全く変わらず支部に所属されている会員の皆様が主体の支部運営を目指します。そして会員の皆様からの意見を中央に上げるという重要な役割を担うこととなります。県内の皆様を大切にしながらJARLと会員の皆様の橋渡し役になることでJARLをより身近に感じて頂けるよう全力を注いで参ります。

また、他の社員や理事の皆様とも連携しながらよりよいJARL・支部作りに微力ながら貢献して参りたいと考えております。

令和8年通常選挙 支部区域毎の社員

●支部区域毎の社員の立候補者（所属支部名 岩手県）	
①コールサイン	: J A 7 U E S
②氏名（フリガナ）	: 遠 藤 隆 史 （エンドウ タカシ）
③年齢	: 69歳
④職業	: なし
⑤無線従事者資格	: 一総通、一陸技
力を入れている無線活動	
<ul style="list-style-type: none">・ KCJ（全国CW同好会）副会長として、モールス電信の啓発活動・ JARDの嘱託職員として、アマチュア無線家の育成・ DXとの交信、移動運用	
支部長としてJARLに対して自分ができる貢献(具体的に)	
<ul style="list-style-type: none">・ クラブ代表者会議や支部大会を通じて、JARLの活動を伝える・ 地域クラブの活動へ参加し、JARLの活動を伝え、理解を図る・ 費用の掛からない行事の企画（CW講習会、FT8講習会等）	
社員としてJARLに対して自分ができる貢献(具体的に)	
<ul style="list-style-type: none">・ 社員総会等へ積極的に参加し、会長などの活動を支援する・ JARL会員相互の融和と親睦を図る	

令和8年通常選挙 支部区域毎の社員

●支部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 宮城県)

- ①コールサイン : JA7DNO
- ②氏名(フリガナ) : 島 正 博 (シマ マサヒロ)
- ③年齢 : 77歳
- ④職業 : 団体役員
- ⑤無線従事者資格 : 第二級アマチュア無線技士

力を入れている無線活動

- ・支部活動を通して、アマチュア無線の広報に努めています。
- ・データモード通信(FT8・DSTAR等)で国内外の交信を行っています。
- ・CWを中心としてコンテストやIOTA・POTA等を楽しんでいます。
- ・アワードハンティングに励んでいます。
- ・WNC(JARLネットワーク委員会)委員として、活動しています。

支部長としてJARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

- ・JARL会員の増強に努力します。
- ・会員を中心として、支部主催のイベントを企画開催してまいります。
- ・子供たちの無線への啓蒙を図ります。
- ・免許取得者や復活ハムへのフォローをイベントを開催して行います。
- ・会員間の親睦が図れるイベントを企画します。

社員としてJARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

- ・社員総会を通して、会員の意見を集約しJARLの運用に貢献します。

令和8年通常選挙 支部区域毎の社員

●支部区域毎の社員の立候補者（所属支部名 上川宗谷支部）

- ①コールサイン : J E 8 J O K
- ②氏名（フリガナ）： 竹 内 秀 則 （タケウチ ヒデノリ）
- ③年齢 : 6 9 歳
- ④職業 : 会社員
- ⑤無線従事者資格 : 第1級アマチュア無線技士

力を入れている無線活動

1. コンテスト（ローカル含む）には可能な限り参加する。
2. CQで呼んでいる局長さんには可能な限り応答する。
3. イベントに合わせて無線運用をする（PR活動）

支部長としてJARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

支部会員との交流により、JARLに対するご意見そして会員が求める活動を本部に提案すると共に事業を実行して行くことが支部長であると考えております。

具体的な活動

1. アマチュア無線家の交流の場を設け、意見・希望等を聞く
2. 積極的に地域イベントと協賛した事業の展開
3. アマチュア無線の公開及び体験運用におけるPR活動

アマチュア無線を知らない世代が多くなっていますので、無線を知っていただくためにPR活動を通じた無線運用が重要と考えております。

今後もJARLの必要性をPRしながら、積極的に活動をして行きたいと思っております。

社員としてJARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

社員の立場としては、会員の意見が理事まで届いておりJARL事業に反映されているかを確認する必要があります。

具体的には

1. 理事会において会員の意見が審議されているか
2. JARLの体制が会員の意見を反映しているか

最近JARL再建に向けた審議はなされていますが、会員サービス低下になっていないかを社員は確認する義務があると思っております。

令和8年通常選挙 支部区域毎の社員

●支部区域毎の社員の立候補者(所属支部名石狩後志支部)

- ①コールサイン : JK 8 C F M
- ②氏名(フリガナ) : 岡田 壮弘 (オカダ マサヒロ)
- ③年齢 : 44歳
- ④職業 : 放送局・経理財務(技術職として親局・中継局管理を12年間)
- ⑤無線従事者資格 : 第一級アマチュア無線技士・第一級陸上無線技術士

力を入れている無線活動

地域の学生HAMを集めて交流の場(JR8YLF札幌ジュニアAMC)を運営して17年になります。個人では、市町村で10~28MHzでモバイル運用をしたり、子供たち向けのサイエンスイベントで、モールス体験をしてもらい、保護者含めてアマチュア無線の周知に努めています。

支部長としてJARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

さっぽろ雪まつりでの公開運用・体験運用は、着実に交流人口を増やしており、報道機関の取材対応などで、アマチュア無線の認知度を上げております。

一方、百貨店催事や、他団体主催のイベントに相乗りする作戦は、外的要因で活動に制約を受けたり、逆にもっと攻めのアピールでも良かったと感じる場面も多々あり、柔軟な対応ができるように、日頃から情報収集を密にして取り組んでまいります。

小学校向け出前授業や、青少年科学館での無線体験会、大人HAMも含めた工作会など「新たなアイデア」「まずはやってみる」「走りながら考える」を繰り返していくことで、支部内の行事を魅力的にし、参加者の増加、会員継続いただけるよう努めてまいります。

社員としてJARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

支部内活動や普段の無線活動を通して、皆様の想いを聞き、受け止め、少しでもより良いアマチュア無線の世界になるように、JARL組織内で潤滑剤の役割をしていきたいと思っております。

●支部区域毎の社員の立候補者 (所属支部名 渡島樽山)

- ①コールサイン : JH8CBH
- ②氏名 (フリガナ) : 佐々木朗 (ササキ アキラ)
- ③年齢 : 65歳
- ④職業 : 自営 (学習指導, パソコン指導)
- ⑤無線従事者資格 : 第一級アマチュア無線技士

力を入れている無線活動

- ・新規に開局する方を増やすという活動には特段力を入れています。イベントを企画し、市民がアマチュア無線を知る機会を積極的に作っていきます。
- ・青少年のラジオ作り教室などを通して、子どもたちの科学の目を育てることに力を入れました。
- ・モールの講習、上級ライセンス取得へ向けての資料提供を行っています。

支部長としてJARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

- ・せっかく出合ったアマチュア無線から、そしてJARLから会員が離れていくことのないよう、情報提供を積極的に行っていきます。特にインターネットがなくても安心してアマチュア無線を楽しんでもらえるよう情報を届けたいと思います。
- ・アマチュア無線のPRに新聞やラジオ出演も有効であることが、この2年間で明確になりました。メディアを効果的に利用させてもらいながら、広く市民にアマチュア無線の楽しみも知ってもらうイベントをこれからも計画していきます。新しくアマチュア無線に出合い、開局まで結び付くようサポート体制もしっかり取っていきます。
- ・常に学ぶことを大切に、他の地区の支部大会や全国規模のイベントなどにも参加するようにし、多くの方の多岐に渡る知識や技術を吸収し、自分の支部に生かせるよう努力します。
- ・アマチュア無線の社会貢献を進めるため、特に災害時のアマチュア無線の有効性を関係機関にPR、免許取得を勧めたり、災害時の連携を提案したりする活動を進めます。

社員としてJARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

- ・社員のメーリングリストができて、社員総会の時だけでなく、日常でも社員の交流ができるようになってとても良かったと思います。MLを活用し、それぞれの支部の行事のアイデアや工夫を知りたいですし、私も学んだこと、実践での成果や課題を発信していきたいと思っています。
- ・私は毎日、マイクを握ったり電信をたたいてたくさんの方とQSOをしています。ですから支部会員や全国の皆さんの思いや願いも理解できる場所が大きいと思います。そんな小さな声も社員としてJARLに届けたいと思っています。
- ・イベントではだいたいの仕事はできると思います。駆けつけますので、ぜひ私を使って下さい。

令和8年通常選挙 支部区域毎の社員

●支部区域毎の社員の立候補者（所属支部名 新潟県支部 ）

- ①コールサイン : J R φ B A T
- ②氏名（フリガナ） : 小川 忍（オガワ シノブ）
- ③年齢 : 60歳
- ④職業 : 会社員
- ⑤無線従事者資格 : 第1級アマチュア無線技士、第2級陸上無線技術士

力を入れている無線活動

- ・ 養成課程講習会
- ・ イベントでのアマチュア無線P R
- ・ コンテスト
- ・ A R D F

支部長としてJARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

JARLに対しては、会員増加への取り組みとなります。

支部長としては、JARLよりも県内会員へ何が出来るかという点が重要であると考えております。

JARL会員で良かったとか会員になりたいという取り組みが出来ればと思います。また、無線人口を増やす活動として、

養成課程講習会の実施
県内各種イベントへの出展
学校等教育機関へのアプローチ
などを行って行きたいと考えております。

JARLとしても経費削減を行っていると思いますが、会費の値下げを検討し入会のためのハードルを下げ会員増やす事につながらないかと考えております。

社員としてJARLに対して自分ができる貢献(具体的に)